

# 国際海上コンテナの横転事故等の発生状況

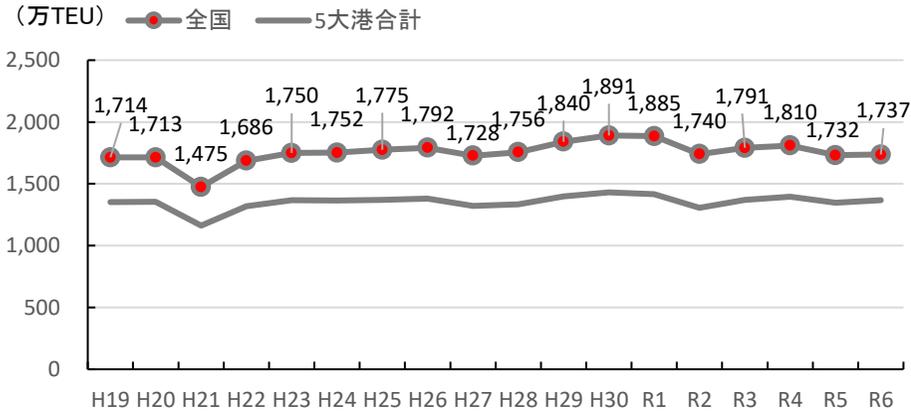
## 第16回 国際海上コンテナの陸上運送に係る安全対策会議



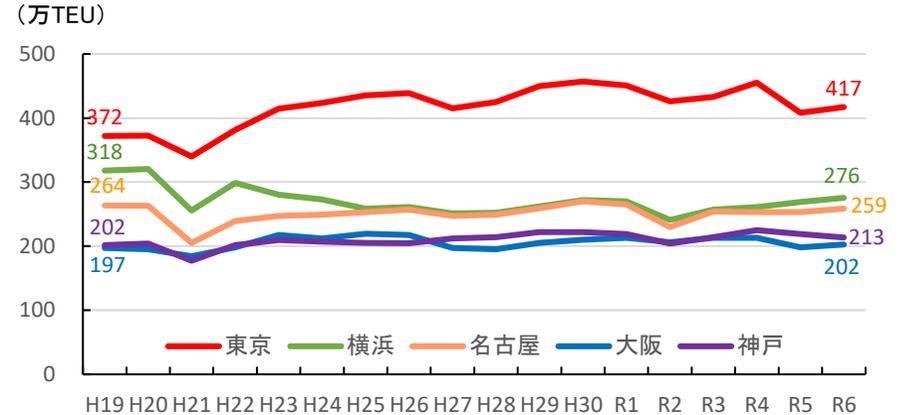
## 海コンを巡る状況

※日本港運協会HP及び国交省プレスより作成

### 我が国の港湾の外貿コンテナ取扱量推移

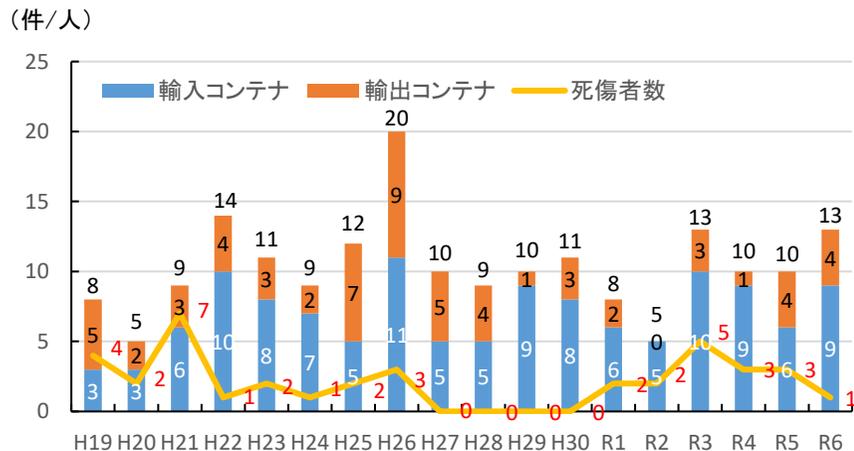


### 5大港の外貿コンテナ取扱量推移



## 海コン横転等事故発生状況

### 横転事故等発生件数 (自動車事故報告規則に基づき報告があったもの)



### 横転事故等による死傷者数

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
死者数	2人	2人	4人	1人	1人	1人	1人	3人	0人	0人
重傷者数	2人	0人	3人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
死者数	0人	0人	0人	0人	2人	0人	2人	0人
重傷者数	0人	0人	2人	2人	3人	3人	1人	1人

※令和8年1月15日で事故報告規則に登録のあったもの

記載事項は、事故報告規則に記載のあった情報及び地方運輸局の調査に基づき記載

No.	コンテナ種類	積載物品	死者数	重傷者数	最大積載量(kg)	当時積載量(kg)	フィート数	高さ	事故原因	事故種類	運転者の情報把握状況				事故概要
											品目	重量	荷姿	方法	
1	輸出	樹脂	0	0	20500	18292	20	普通	運転操作不良	転覆	有	有	有	作業書 口頭	千葉県内の道路において、当該車両が60km/hの速度で右カーブを走行したところ、曲がり切れずに助手席を下に横転した。
2	輸入	BOPPスリーブ(包装フィルム)	0	0	24100	21380	40	背高	運転操作不良	転覆	有	有	無	運送依頼書 送り状	福井県の国道において、当該車両が40km/hの速度で右カーブを走行したところ、曲がり切れずに左に傾きながらガードレールに衝突して車両全体が横転した。
3	輸入	かぼちゃ	0	0	24200	24000	40	背高	運転操作不良	衝突	有	有	有	メール 無線	兵庫県内の港湾道路において、当該車両が70km/hの速度で左カーブを走行したところ、曲がり切れずに側壁へ衝突し、その衝撃で側壁の上にトレーラーが載ってしまい横転。この横転により、高架から地上道路に積荷が散乱した。
4	輸入	ベニヤ合板	1	0	24000	23158	40	背高	運転操作不良 <b>固縛不良</b>	転覆	有	有	有	運送依頼書	大阪府内の道路において、当該車両が56km/hの速度で走行中、進行方向の右側に横転した。運転者は病院に搬送された後、死亡が確認されている。
5	輸入	トライボード(木板)	0	0	30480	29000	40	普通	運転操作不良 <b>偏荷重</b>	転覆	有	有	有	口頭 書類	広島県内の道路において、当該車両が25km/hの速度で右折しようとしたところ、曲がり切れずに横転した。なお、貨物の重心が不安定な状態だった。
6	輸入	植木鉢	0	0	30480	29300	40	背高	運転操作不良	転覆	有	有	有	運送依頼書 送り状 口頭	福岡県の道路において、当該車両が道に迷い幅員の狭い道路に進入し、10km/hの速度で走行したところ、助手席側のシャーシの後輪が脱輪し走行不能となり、その後横転した。

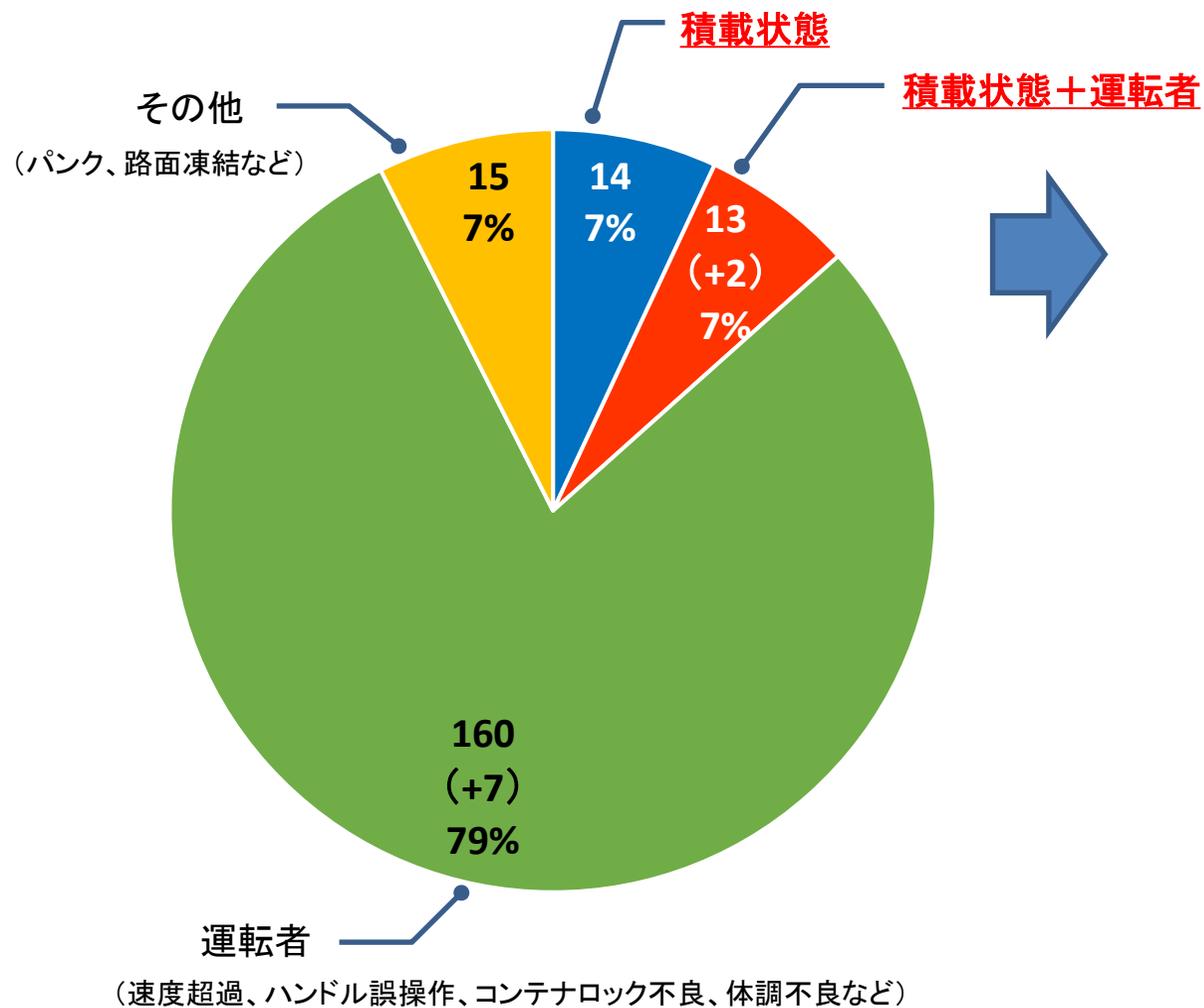
※令和8年1月15日で事故報告規則に登録のあったもの

記載事項は、事故報告規則に記載のあった情報及び地方運輸局の調査に基づき記載

	コンテナ種類	積載物品	死者数	重傷者数	最大積載量(kg)	当時積載量(kg)	フィート数	高さ	事故原因	事故種類	運転者の情報把握状況				事故概要
											品目	重量	荷姿	方法	
7	輸入	製材	0	0	24000	22200	40	背高	運転操作不良 ツイストロック不完全	転覆	有	無	無	口頭	北海道内の道路において、交差点で一時停止後に発進し8km/hで走行したところ、右側に傾きそのままコンテナが落下した。なお、前左のロックPINが完全にロックされていないかった。
8	輸入	サツマイモ	0	0	24000	17000	40	背高	運転操作不良	転落	有	有	有	無線	兵庫県内のコンテナヤードにおいて、当該車両が30km/hの速度で右カーブに進入し、左側にコンテナを落下させた。
9	輸入	ベニヤ板	0	0	38510	29300	40	背高	運転操作不良	転覆	無	有	無	無線	神奈川県内の道路において、当該車両が48km/hの速度で右折しかけたところ、交差点を曲がりきれずコンテナを横転させた。

# 国際海上コンテナの横転事故の原因別件数

## ◆平成18年～令和7年(計202件) (令和7年件数は令和8年1月15日時点で事故報告規則に登録のあったものにて集計)



内訳	件数
過積載	9件(±0)
偏荷重・荷崩れ	18件(+2)

※ ( )は令和7年の件数

※ 事故原因のうち、偏過重・荷崩れの有無については、地方運輸局の調査において確認ができたもののみ